

# 適正施設ガイドライン

【ホトケドジョウ *Lefua echigonia*】

2020年9月

公益社団法人日本動物園水族館協会

## 1 飼育環境

### 1-1 水温

外気温に応じて変動する飼育方法を推奨。概ね 15～25℃程度の範囲での飼育が望ましいため、夏場の高水温、冬場の低水温には留意し、必要に応じて温調を考慮する。

### 1-2 振動・光

親魚を落ち着かせるため、静かな場所が望ましい。

季節的な日長変化を感じさせることができる環境が望ましい。

### 1-3 照明（日照、人工照明、照明時間長）

照明は自然光、人工照明（蛍灯、LED など）のどちらでも良いが、季節的な日長および水温変化を考慮した方が繁殖（成熟）には適している。

### 1-4 水槽サイズ（面積、容積）

一般的な 60 cm水槽（60×30×36cm、容量 65ℓ）で育成することができる。

水量が多い容器の方が水温、水質がより安定する。

繁殖向けの収容数は概ね 50ℓあたり雌雄各 5 尾程度。

### 1-5 構造、設備、水槽の数

#### 1) 未成魚・成魚

底砂には南国砂などの細砂を用いる（底面濾過材との兼用可）。石積や水草などでシェルターを施す方が望ましい。ろ過は底面式で充分である。

#### 2) 卵・仔稚魚

小型の水槽でも育成可能だが、収容密度、水質の悪化に十分留意する事。また成長に応じて密度の変更や水槽の大型化を考慮する事。



写真1 屋外自然繁殖槽の例



写真2 稚魚育成槽の例

### 1-6 飼育水（水質）

水質にはそれほどうるさくなく、弱アルカリ～弱酸性の範囲であれば河川水や井戸水または塩素中和した水道水で良い。